

日本透析医会研修セミナー  
透析医療における Current Topics 2016（東京開催）  
「透析患者の感染症への挑戦」

日 時 平成 28 年 5 月 15 日（日）8：45～16：45  
場 所 コクヨホール（JR 品川駅港南口）  
東京都港区港南 1 丁目 8 番 35 号  
TEL 03-3474-6092（当日のみ）

公益社団法人 日本透析医会

---

## 透析医療における Current Topics 2016（東京開催）

### 「維持透析患者に関連する感染症」

---

#### 開催の趣旨

2013年の導入患者38,024人について死因を分析すると、感染症死亡が25.9%を占めて心不全の24.0%を凌駕している。導入患者の感染症死亡が、経年的に増加してきていることも知られている。2013年の全患者の死因をみると、心不全（26.9%）に次いで、感染症（20.8%）が挙げられている。こうした状況には、新規導入患者の高齢化が関与しているのであろうか。導入期の死亡率が高い事実と、これは関連しているのであろうか。

そこで今回のセミナーでは、維持透析患者に関わる重要な感染症を取り上げて、エキスパートに概説していただくことを企画した。透析医会・透析医学会・臨床工学技士会・腎不全看護学会の協働によって2015年3月に刊行された「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）」を中心に秋葉 隆先生には維持透析患者の易感染性を含めて講演していただいたうえで、各論として（1）呼吸器感染症、（2）ウイルス性肝炎、（3）バスキュラーアクセス関連感染症、（4）腹膜透析関連感染症について、各演者に言及していただく予定である。中心的な関心事である透析患者の免疫能低下や感染に対する生体反応の特殊性、さらに多剤耐性菌感染など興味深い話題が山積みである。

私共透析医は、現在話題になっている院内感染や食中毒の原因菌である結核菌・腸球菌・セラチア菌・腸炎ビブリオ・大腸菌・O157・腸管毒素原性大腸菌・志賀赤痢菌・サルモネラ菌などのほか、外来性感染症への関心も疎かにはできまい。今回カバー出来なかった領域の感染症は、改めて本セミナーで取り上げたい所存である。

なお、本テーマの発表に先駆けて、山崎前会長に会長として活躍された14年を回顧していただく予定であり、会員一同には待たれる講演である。

研修委員会委員長 大 平 整 爾

## プログラム

- 8：45－8：55 開会の辞 秋澤忠男（日本透析医会会長）  
開催の趣旨 大平整爾（研修委員会委員長）

### <午前の部>

- 8：55－9：45 特別講演 **日本透析医会の14年と診療報酬**  
演者 山崎親雄（日本透析医会前会長・増子クリニック 昴）  
司会 秋澤忠男（日本透析医会会長）
- 9：55－10：45 演題 **透析患者を感染からまもる～ガイドライン**  
演者 秋葉 隆（東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化療法科）  
司会 山本裕康（厚木市立病院）
- 10：55－11：45 演題 **呼吸器感染症（肺炎とインフルエンザ）**  
演者 石田 直（倉敷中央病院呼吸器内科）  
司会 佐中 孜（江戸川病院生活習慣病CKDセンター）

11：55－13：35 昼休み

（12：00－12：30 日本透析医会通常総会）

### <午後の部>

- 13：35－14：25 演題 **ウイルス性肝炎**  
演者 田中 篤（帝京大学医学部内科学講座）  
司会 小松康宏（聖路加国際病院）
- 14：35－15：25 演題 **バスキュラーアクセス関連感染症**  
演者 久木田和丘（札幌北楡病院外科）  
司会 天野 泉（名古屋バスキュラーアクセス天野記念診療所）
- 15：35－16：25 演題 **PD 関連腹膜炎**  
演者 樋口千恵子（東京女子医科大学東医療センター 内科）  
司会 頼岡徳在（広島腎臓機構）
- 16：35－16：45 閉会の辞 宍戸寛治（研修委員会担当理事）

※各講演後に10分間の質疑応答あり

## 参加される方々へ

1. 参加費 1,000 円（当日受付にて）
  - ・日本透析医会会員以外の方もご参加いただけます。
  - ・当日会場にて受付をいたします（事前申込み不要）。
2. 認定医制度について  
本セミナー参加により
  - ① 一般社団法人日本透析医学会の認定医制度（3 単位）
  - ② 6学会合同認定「透析療法指導看護師」の受験資格ポイント（4 ポイント）
  - ③ 透析療法合同専門委員会「透析技術認定士」認定更新点数（5 点）を取得できます。
3. 呼び出しについて  
会場内での呼び出しは緊急の場合以外は致しません。

